

高松市立川島小学校 体力向上プラン

【学校教育目標】

人権尊重の精神を基盤として
自ら考え、判断し正しく行動できる、心豊かでたくましい児童を育てる。

【本年度の努力点】

- ① 学期毎に重点的に取り組む学習領域を定めて、学習への興味関心を高め、技能の伸長を図る。
- ② 体力づくりの中心的な運動としてなわとびを取り上げ、運動の日常化を図る。
- ③ 運動機会の保障と安全の確保を行って、運動環境を整える。

【年間計画】

	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
教科体育重点領域	低器	ゲ	全水泳		低走	ゲ	低走	器	器	体	ゲ
体力づくり	中高器	ゲ陸	保保		中高走陸	走器	中高ゲ保	器器	器保	体体	ゲゲ
クラブ			水泳クラブ		陸上クラブ		なわとび持久走				
クラスマッチ				水泳					なわとび		

【取り組み】

毎週金曜日 なかよしタイム

異学年交流も含めて、おにごっこを主とした外遊びを15分間実施し、遊びに親しむことで、運動の日常化を図るようにする。



川島オリンピック

児童会が主催する運動遊びを主とした大会を定期的実施している。昼休みの体育館を活用し競争遊技を中心に活動することで、巧み性を高めたり、投げる力を高めたりする。競い合う楽しさから運動への好感度を高める。



教具の工夫

ボールを怖がる児童のために、低・中学年の学級付きボールにウレタンボールを配布した。痛くないので、女子児童も進んでボール遊びができ、多くの児童が、投げる、逃げる、受けるという運動をするようになっていく。

学校評価で、多くの教員からの要望があり、H26年度に購入し、各学級付けにした。



すもう大会

不定期だが、児童の自主性を育てていくために相撲を行う。自分の意志で参加を決め力比べをする。保育園児も見学に来て盛り上げてくれている。担任や友だちの応援が励みとなり、負けた児童も次の開催を楽しみにしている。



【目標】

- 教科体育の中で、学習規律の1つとして集団行動の共通理解を図り、学習の効率化を図る。
- 単元の目当てを明確にし、身に付ける技能の定着とともに体育が好きな児童が90%を超える。
- 子どもが伸びを感じられる場を数多く設定し、自らが目標を持って取り組もうとする意識を高めしていく。